


平成30年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立矢口特別支援学校		知的障害	基	通学区域	大田区、世田谷区	
	「家庭との連携と一貫した教育の推進」 一人一人が人間性豊かに成長し、地域で暮らす力を育成する学校を目指して				進路実績	小学部13名本校中学部進学 中学部23名(都立港特別支援高等部・都立田園調布特別支援高等部・都立城南特別支援高等部進学)	
基	所在地	〒146-0093 大田区矢口一丁目26番10号	電話番号 03-3759-6715	本 情	教 育 課 程 の 特 徴	①	小学部・中学部教育の推進
	アクセス	(1) 東急多摩川線武蔵新田駅 下車徒歩5分 (2) (3)				②	キャリア教育の推進
設置学部	小学部、中学部		③			小中学部教育課程の推進	
幼児・児童生徒数	181名(小学部120名、中学部61名)		④			教育支援員導入に伴う授業改善に基づいた教員の専門性の向上	
学級数	39学級(小学部26学級、中学部13学級)		⑤			地域と連携した防災教育推進と福祉避難所開設訓練の実施	
報	スクールバス	6台(大型3台、中型3台)		報	学 校 評 価	副籍実施状況	50名(直接的交流40名、間接的交流10名)
	その他	平成29年度社会貢献活動モデル事業 特別支援教育エリアネットワークセンター校(大田区、世田谷区)				学校評価	回答率(保護者72.0%、教職員100%、地域住民80%) 保護者肯定的評価率(すべての設問平均)85%、教職員90%(平成29年度分)
	ホームページ						http://www.vaguchi-sh.metro.tokyo.jp/

目指す学校 一人一人が人間性豊かに成長し、地域で暮らす力を育成する学校 ①児童・生徒の可能性を最大限に伸ばし、質の高い教育を実践する。
②保護者、地域、関係諸機関との連携を図り、地域力を高める。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価
目標①	自立・社会参加を促えたキャリア教育の充実 ①生活に役立つ力のあいさつ力の充実 校内あいさつ検定の実施 ②専門家連携による清掃力の向上・親子清掃教室の実施 ③地域等における作業製品販売実習の実施 ④キャリア教育の充実とマニュアル作成と活用	①校内あいさつ検定については昨年同様20名程が実施した。昨年度とほぼ同数ではあるがレベルアップで挑戦する児童・生徒も増加している。次年度に向けて低学年の児童・生徒の力もついてきているので新規受講者を増やすように受講率をアップさせた。②清掃検定については、ビルメンテナンス協会の協力を得て中学部での生徒が受講できるように工夫した。今年度は28名が受講し生徒のスキルアップにつながってきている。③区役所販売は、中学部3年生が中心となって作業製品を販売した。オープンフェスタにも作業販売を行い生徒の活動にも貢献した。販売についても生徒や教員と一緒に取り組むことができた。
目標②	全校的な専門性の向上 ①公開研究発表会実施(平成31年1月30日)②特別支援学校教員免許状取得率の向上 ③授業OJT体制による授業力の向上④大学や専門家と連携した授業改善研究⑤全教員の公開授業と授業自己チェックシートの活用	①平成31年1月30日に実施。小中のつながりをもとに「学びの地図」作りをはじめた2年目で小中学部での取り組みのグループワーク発表や指導講師の講演形式で公開研究会を行い全国から42名の参加を得ることができた。次年度は3年目のまとめとしていく。②特別支援学校認定講習受講についてもほぼ100%に近く参加している。取得率も80%ほどに達している。③専門性の自己チェックシートも自己申告等で活用し、自分の専門性もOJTを活用して特に若手教員へのつながりを期待する。④外部専門員の導入で教員の専門性や児童生徒のアセスメントを検討することで授業改善等につなげている。⑤教職員は、2回以上の公開授業を展開していた。授業力の向上や改善は教員として常に目指していける意欲につなげていく。
目標③	総合力の発揮と効率的な学校運営の推進 ①ミドルリーダーの育成②仮設校舎の安全な学校生活の維持③新校舎建設に向けた計画的な対応④地域と連携した総合防災訓練・宿泊防災訓練・福祉避難所開設準備訓練の継続実施④ライフワークバランスを考慮した学校組織運営の充実⑤いじめ・体罰防止に努める。	①毎週1回主任・主幹会を設定、お互いの理解を深めることと課題点を認識するように取り組ませた。②校内点検を随時行い修理等必要な箇所は早急に対応した。事故や怪我につながるようなことは最優先で取り組んでいる。③新校舎計画も基本計画が完成し31年2月には旧本校舎をすべて解体した。児童数の増加で使用教室の調整を図っている。④1泊2日の宿泊防災訓練も2年目を迎え、中学部3年生が参加し、福祉避難所開設訓練も朝会や関係機関も参加して取り組む。⑤ライフワークバランスに対して月1回の定時退庁日や週に1回会議時間の調整を図ることで有意義に過ごせる時間を設定した。⑥週1で行われる企画調整会議で小、中学部のいじめ体罰の状況を確認している。現在のところ発生は0である。

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	27年度		28年度		29年度		今年度		31年度	32年度	33年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学校公開参加者人数	250	305	300	307	300	347	330	352	350	380	400
目標②	専門性自己チェックシートの活用ポイントアップ率	8ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント	5ポイント	5ポイント	8ポイント	8ポイント	8ポイント
目標③	マネージメントサイクルによる進行管理率	90	98	90	95	90	90	95	95	95	90	90

